

1 がんばる介護事業所表彰について

- 要介護者等の自立支援や生活の質の向上、職員の雇用環境の改善に積極的に取り組む県内の事業所を表彰
また、その取組みを広く紹介することで、県内における介護サービスの質の向上や介護人材の確保につなげる

自立支援部門

- 利用者の自立支援・生活の質（Quality Of Life : QOL）の向上に向けた取組み
- 職員の資質向上によるより良い介護サービスの提供に向けた取組み
- 介護サービスの質の向上等に向けた取組み

雇用環境部門

- 人材育成のための取組み
- 福利厚生充実や職場環境改善のための取組み
- 職員の離職防止に向けた取組み

時 期	内 容
7月17日	ワーキンググループ開催①（実施方法等の検討）
8月17日～9月18日	事業所の募集
8月31日	第1回富山県福祉人材確保対策・介護現場革新会議
10月上旬	応募事業所への視察
11月上旬	ワーキンググループ開催②（表彰事業所の選定）
1月上旬（時期未定）	表彰式



介護現場生産性向上 WG（7/17開催）

2 とやま介護テクノロジー普及・推進センターの取組みについて

○ 令和7年度のKPI進捗状況

1 テクノロジー導入率

介護ロボットやICT等の導入事業者割合（※介護サービス情報公表システムをもとに国が公表）

➡ 令和8年に50%、令和11年に90%超の導入達成を目標に、現時点の導入率からの毎年の必要上昇率を算定

	R6.8末	R7.6末	R8(目標)	R9(目標)	R10(目標)	R11(目標)
富山県	24.8%	27.0%	50.0%	63.3%	76.7%	90%超
全国	31.6%	31.2%	50.0%	-	-	90%超

R7目標(41.6%)は未達成

2 伴走支援の実施数

センターにおいて、伴走支援を行った事業所数

➡ 3事業所以上／年

R5	R6	R7
3事業所	2事業所	3事業所

目標達成

3 相談件数、研修等受講者数

事業所等からセンターへの相談件数、研修や体験講座の受講者数

➡ 相談件数 500件／年、研修等受講者数 1,300名／年

	R5	R6	R7
相談件数	658件	489件	422件
研修等受講者数	1,225名	1,572名	1,415名

目標未達成

目標達成

○ 令和8年度の新たな取り組み

- ・介護テクノロジー有識者による生産性向上相談窓口を設置（月1回）
- ・訪問介護におけるテクノロジー導入・活用のモデルとなる事業所を伴走支援で育成

介護現場生産性向上 WG（7/17開催）

3 主なご意見

○ がんばる介護事業所表彰について

- 客観的な評価指標として、定量的なデータ（雇用環境部門：離職率、自立支援部門：排泄支援・自立支援・LIFE 関連などの加算の取得状況）があるとよいのではないか。
- 応募書類の記入に関して助言・サポートを行うことで書類の内容が濃くなり、評価しやすくなるのではないか。

○ とやま介護テクノロジー普及・推進センターの取組みについて

- 文書・動画・イラスト・チラシ作成業務など、介護業務以外のAIの利活用に関する研修の機会を設けてほしい。
- 研修アンケートの結果を整理・分析し、センターの取組みにどう活かされているかを確認できるようにしてほしい。
- 現行KPIはプロセス評価にとどまるため、導入成果を表すアウトカム評価（結果評価）の視点が必要ではないか。

○ その他のご意見

- 共生型サービスは介護と障害で記録様式が異なり、現場の負担となっている。富山県として共通フォーマット化できれば事務負担軽減につながる。
- 優良事例の成果を報告・共有するなど横展開が重要